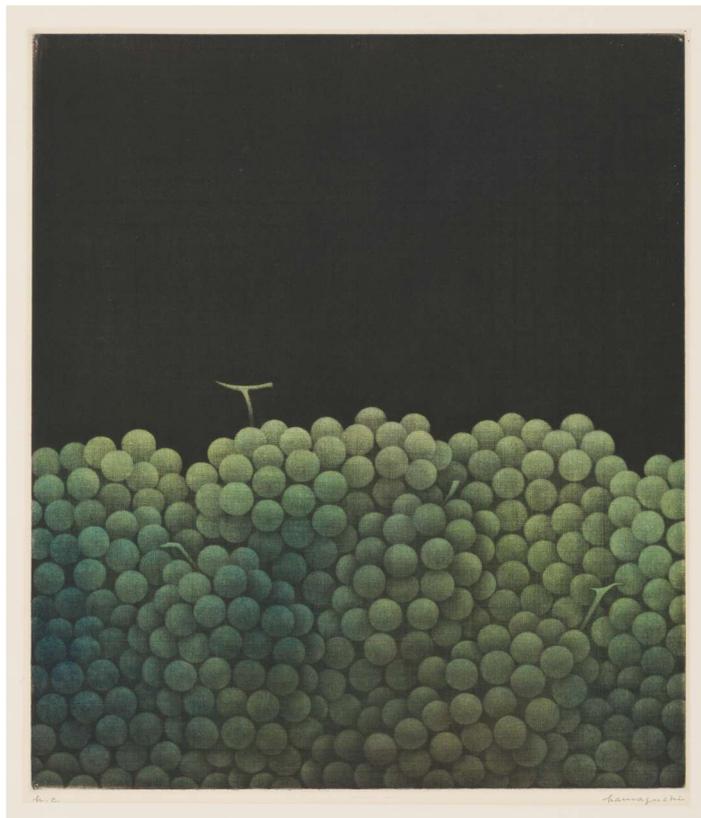


2025年初夏の展覧会 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

浜口陽三銅版画展

Musée
Hamaguchi
Yozo:
Yamasa
Collection

そこに広がる静かな世界が見えてきます。



《暗い背景のぶどう》 Grapes in Darkness 1961年 color mezzotint 34.3×29.5cm

目をこらすと、ほら

浜口陽三(1909-2000)は、20世紀を代表する銅版画家の1人です。

1950年頃から本格的に銅版画を追求し、カラーメゾチントという新たな技法を開拓しました。

その深みのある黒と繊細な色彩は版を刷り重ねることで作られ、絵の中の世界を無限に広げてゆきます。

暗闇のなかに、そっと浮かび上がる果実や昆虫たち。輪郭はやわらかく、静かな気配を宿しています。

本展では《暗い背景のぶどう》をはじめ、浜口陽三の銅版画を約50点展示します。

小コーナーでは、近年見つかった小さな原版(ドライポイント)6枚を、再現した刷りと共に初公開します。

制作年代不明の、実験的な試作です。メゾチントと違う浜口陽三の一面をご鑑賞ください。



版画工房エディション・ワークス
加山智華氏による刷り再現
制作年不明 ドライポイント、雁皮紙
7.6×6.2cm

会期 2025. 4.12 国 → 6.15 国
休館日 月曜日(ただし5/5は開館)
展覧会 2025年初夏の展覧会
タイトル 浜口陽三銅版画展 一目をこらすと、ほら
開館時間 11:00~17:00(土日祝は10:00~)、最終入館16:30
入館料 大人 600円/大学・高校生 400円/中学生以下無料

主催・会場 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

Tel_03-3665-0251 Fax_03-3665-0257

Mail_musee@yamasa.com

アクセス_東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば

東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分

首都高速箱崎IC[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前

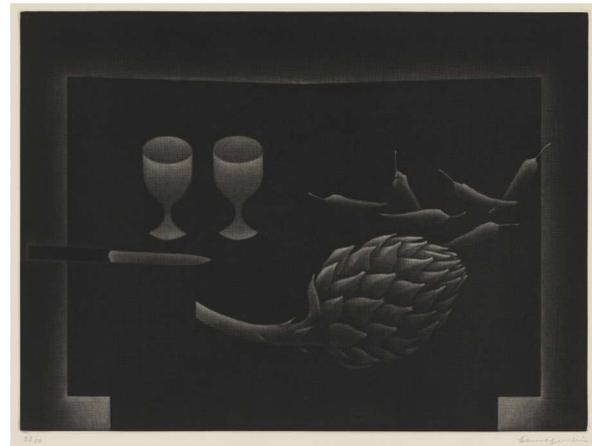
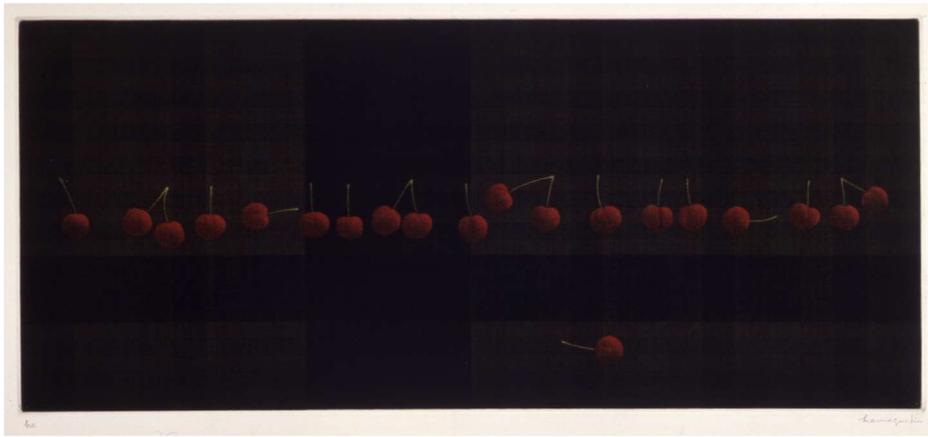
<https://www.yamasa.com/musec/>

美術館HP



ナイトミュージアム等を含む最新のスケジュールはホームページ上に記載します▶

浜口陽三銅版画展 — 目をこらすと、ほら



左上：《19と1つのさくらんぼ》 Nineteen Cherries and One 1965年 color mezzotint 23.4×53.8cm
 右上：《ツーパーズ》 Two Pairs 1976年 color mezzotint 3.6×5.6cm
 左下：《黒いさくらんぼ》 Black Cherry 1960年 color mezzotint 19.4×26.6cm
 右下：《あざみ》 Artichoke 1957年 mezzotint 29.5×39.5cm

EVENT 1

銅版画メゾチント体験教室

一回の実習で製版から刷りまで行い、ハガキサイズの作品を完成させます。初めてでも無理なくご参加いただける、初心者向けの教室です。

【講師】 江本創(アーティスト)

【日時】 5/18(日)

[午前の部]10:00-13:00 [午後の部]14:00-17:00

【参加費】 2,000円+入館料

【定員】 各回10名

【持ち物】 12×7.5cmの下絵、汚れてもよい服装またはエプロン

【お申込】 4/12(土)12:00より電話にて先着受付



EVENT 2

トーンを刷る銅版画ワークショップ

2枚のトーンの版を刷り重ねることで、多彩な色調を作るワークショップです。

【講師】 関貴子(版画家)

【日時】 4/20(日)、5/11(日)、6/8(日)

①13:30-14:30 ②15:30-16:30

【参加費】 600円+入館料

【定員】 各回4名

【お申込】 4/12(土)12:00より電話にて先着受付

